

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名： 東田 義博

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R5. 7. 3 ～6	R5. 7. 4～5 9:30～ 16:00	青森県六ヶ所村・秋田県大潟村・男鹿市	日本原燃株式会社 大潟村博物館 男鹿市役所	大潟村議会議員 長、教育長他	使用済み核燃料の再処理について視察	705.706. 715.717
R5. 7. 10 ～11	R5. 7. 10 16:00～ 18:00	米子市	高島屋	米子市長他	日本サウナ学会米子大会の意思統一	714
R5. 7. 24 ～28	R5. 7. 25～ 28 9:30～ 16:00	モンゴル国 (ウランバートル・ダンバルジャー・ゾーモント他)	モンゴル中央 県庁・日本大使館・日本語学級	ウランバートル日本大使、モンゴル中央県知事	モンゴル中央県と日本語学級生徒との交流	720
R5. 8. 23	R5. 8. 23 10:00～ 14:00	兵庫県豊岡市	日高神鍋観光協会 豊岡市役所	日高観光協会職員 豊岡市副市長	山陰海岸ジオパーク推進協議会総会	313
R5. 9. 1 ～2	R5. 9. 1 15:30～ 17:00	東伯郡三朝町	三朝町万翠桜	鳥取岡山県境議員	鳥取・岡山県境議連総会・意見交換	901
R5. 10. 27	R5. 10. 27 12:30～ 18:00	東京都	JAPAN MOBILITY SHOW 2023	日本自動車工業会	次世代のモビリティと県内出展企業視察	1012
R5. 10. 29 ～30	R5. 10. 29 13:00～ 16:00	愛媛県今治市	今治市ソフトボール会場	愛媛県ねんりんピックスタッフ	案内・会場・もてなし・物販等の状況視察	1013
R5. 11. 25	R5. 11. 25 15:00～ 21:00	鳥取県米子市	日本サウナ学会総会 2023	日本サウナ学会	サウナを活かした健康対策・地域活性化	1108

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告（県外・~~国外~~）

議員名：東田 義博

活動事項	① 青森六ヶ所村日本原燃の現状視察調査 ② 秋田大潟干拓事業の現状視察調査 ③ 秋田男鹿市サイクリングロードの現状視察調査
活動年月日	令和5年7月3日（月）移動日、宿泊 同上 4日（火） 9:30～16:00 政務活動 同上 5日（水） 9:30～16:00 政務活動 同上 6日（木） 移動日
場 所	① 青森県上北郡六ヶ所村 日本原燃株式会社 ② 秋田県南秋田郡大潟村 大潟村博物館・八郎潟 ③ 秋田県男鹿市 男鹿市役所・CYCLING ロード
活動の相手方	① 六ヶ所原燃 PR センター・同再処理工場・原燃輸送(株) ② 大潟村議会議長、教育長、八郎潟基幹施設管理事務所 ③ 男鹿市長、男鹿市観光協会 DMO 推進室
活動の目的	① 使用済み核燃料処理をどのように行うか。工場稼働に向けた取り組みの現状把握 ② 八郎潟の干拓事業と大潟村の歴史について学習 ③ 男鹿市のサイクルツーリズムについて現状認識
活動の内容	① 原子力発電の使用済み燃料を再処理することにより、再利用可能なMOXの製造の仕組みを学習した。原燃には濃縮、埋設、再処理施設等があり、従業員も3,000人以上いる。国の重要プロジェクトであるが、早期の稼働が望まれる。 ② 戦後の国策として行われた八郎潟の干拓事業は広大であり、干拓面積17.239ha、うち農地面積は12.792haで水田と畑地が広がる。用排水の管理が重要であるが、排水施設管理は秋田県が行っている。 ③ ナマハゲで有名な男鹿市であるが、男鹿半島の西海岸は日本の渚100選の鶴ノ崎海岸と日本灯台50選の入道崎灯台があり、潮風のここちよい海岸ルートで全国のサイクリストが訪れている。レンタサイクル等の経営は観光協会DMOが行っている。
活動の結果等	① 本県においても、中国電力島根鹿島原発からの使用済み核燃料が六ヶ所村原燃に受け入れされており、正しく認識することは重要であった。 ② 干拓事業による、稲作農業は斜陽化しており経営が厳しい近年、畑作への転換も車窓から見受けられた。 ③ 本県で進める「うみなみサイクリングロード」の景観は男鹿市に引けを取らないロードである。あとはソフト対策の充実が重要である。
関連領収書番号	705、706、715、717

【記載例】

活動報告(県外・国外)

議員名：東田 義博

活動事項	① モンゴル中央県 100 周年記念式典に県議会議員団として参加 ② 日本語学級生徒との交流 ③ 日本大使館訪問・日本墓地跡参拝
活動年月日	令和 5 年 7 月 24 日 (月) 移動日、宿泊 同上 25 日 (火) 9:30~14:30 政務活動(ズーモント日本語学級生徒との交流) 同上 26 日 (水) 9:30~16:00 政務活動 (日本大使館訪問・ダンバダルジャー日本墓地跡参拝) 同上 27 日 (木) 9:30~16:00 政務活動 (ナーダム開会式参加・中央県訪問) 同上 28 日 (金) 移動日
場 所	① ズーモント日本語学級 ② ウランバートル日本大使館・ダンバダルジャー日本墓地 ③ ズーモントナーダムスタジアム・モンゴル中央県庁
活動の相手方	① ズーモント日本語学級生徒・日本親善協会訪問団と合流 ② ウランバートル日本大使 ③ モンゴル中央県知事
活動の目的	モンゴル中央県 100 周年に対する祝意を伝えると共に、日本とモンゴルの親善の絆を高めるため。
活動の内容	① ズーモントの日本語学級の子どもたち交流を行った。 ② モンゴルの経済とインフラ整備について意見交換を行った。(下水道、道路排水、地下鉄等整備について) ③ モンゴル国家的行事ナーダムの開会式に参加した。民族衣装、馬術、集団演技、演奏を見学。 その後中央県知事と鳥取県副知事と発展的交流の継続確認が行われる。
活動の結果等	日本語学級の子どもの弁論、綱引き、日本料理体験、交流昼食会で交流の絆が強くなり、令和 6 年はモンゴルの子どもたちの訪問を鳥取県で受け入れる予定。 モンゴル中央県庁訪問では、中央県知事と鳥取県副知事が交流の継続と発展の確認を行った。
関連領収書番号	720

活動報告 (県外・~~国外~~)

議員名：東田 義博

活動事項	① 日高神鍋観光協会サステイナブルツーリズム委員会の視察 ② 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会
活動年月日	令和5年8月23日(水) 10:00～14:00 政務活動
場所	① 兵庫県豊岡市日高町 日高神鍋観光協会 ② 兵庫県豊岡市役所
活動の相手方	① 日高神鍋観光協会職員 ② 豊岡市副市長
活動の目的	① サステイナブルツーリズムの実践の学び。 ② 山陰海岸ジオパーク推進協議会総会
活動の内容	① 気候変動や後継者不足の改善など、サステイナブルツーリズムの実践について研修する。 ② 山陰海岸ジオパーク推進協議会総会(役員選出・事業報告・事業計画の承認)
活動の結果等	① 神鍋高原の持続可能な観光事業をするため、カーボンニュートラルを目指した取組みの実践を学ぶ。 ② 山陰海岸ジオパーク推進協議会総会においては、役員選出、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画について審議、決定を行う。 なお、3府県のジオパークの取組状況と課題を発表した。
関連領収書番号	8-10 313

活動報告(県外・国外)

議員名：東田 義博

活動事項	JAPAN MOBILITY SHOW 2023 の視察
活動年月日	令和5年10月27日(金)12:30~18:00 政務活動
場所	東京都江東区有明 東京ビッグサイト
活動の相手方	日本自動車工業会
活動の目的	次世代モビリティと県内出展企業の視察
活動の内容	<p>さまざまな次世代モビリティで変わる社会の変革を視察。例えば</p> <ul style="list-style-type: none">・超小型モビリティ・パーソナルモビリティ・先進安全モビリティ・アウトドアモビリティ・地球環境モビリティ・空を飛ぶモビリティ <p>(トヨタ・スバル・ダイハツ・ニッサン・三菱・ホンダ・その他)を視察した。</p> <p>また、鳥取県内事業所より部品機械メーカーとして出展していた、NKO 株式会社鳥取事業所のシールワッシャーやミネベアミツミ株式会社米子事業所の開発設計 DC モーターの展示ブースの視察を行った。</p>
活動の結果等	<p>日本の未来に向けて、次世代のモビリティや最先端技術が結集したモビリティショーで475社の主な製品を見学することができた。</p> <p>また、その一角に鳥取県内の事業所の製品の展示ブースがあり最先端の開発の状況を認識できた。</p>
関連領収書番号	1012

活動報告 (県外・国外)

議員名：東田 義博

活動事項	ねんりんピック愛媛大会の視察
活動年月日	令和5年10月29日(日) 13:00~16:00 政務活動 宿泊 令和5年10月30日(月) 移動日
場所	愛媛県 今治市 ソフトボール会場
活動の相手方	愛媛県ねんりんピック スタッフ
活動の目的	案内表示、会場設営、もてなしサービス、試合の流れ、記念品販売の設置等について調査し、鳥取県大会の参考とする。
活動の内容	案内表示、会場設営、もてなしサービス、試合の流れ、記念品販売の設置等について調査視察を行う。 併せて、鳥取県選手チームの応援を行った。
活動の結果等	案内表示・・・幟旗の掲出が会場誘導になっている。 会場設営・・・駐車場、競技場、休憩スペース、大会事務局等 わかりやすい配置であった。 もてなしサービス・・・一般者には特になかった。 試合の流れ・・・スムーズ試合進行であった。 記念品販売の設置・・・帽子・タオル・Tシャツ等の会場販売 テントがあったが、特産品や食品はなかった。 試合見学後、日帰り温泉に行ったが、選手が大勢利用していた。 また、観光地今治城では選手の観光人数が多かった。
関連領収書番号	1013